

eau founda

Voyage Cosmetics.

エミューファンデ

エミューファンデは、オキシを使わず髪を染めることができるパウダーカラーです。

良く染まる・発色が良い・使いやすいことが特徴で、従来のパウダーカラーで指摘されてきた問題点を解消した純日本製の酸化染毛剤です。

「しっかり結果は出したいが髪は傷めたくない」という、Voyage Cosmetics.の基本コンセプトに沿ったヘアカラーです。

今のクリームカラーは、とにかく1剤と2剤を1：1に混合して塗れば染まるという簡単な構成になっていますが、この簡単な方法が髪を傷めている要因でもあります。

パーマやストレートをする場合にアルカリに気を使う美容師さんが増えている中、カラーのアルカリやオキシについては当たり前というような状況になっているのではないかと思います。

パーマの現状に疑問を抱いた10年前と同様に、カラーの現状にも疑問を持ったとき、カラーのアルカリについても方向性があることに気づきました。

エミューファンデは、一時期バッシングされたヘナの代替えとして開発した訳ではありません。

何かと比較するというのも現状では必要なことだと思いますが、今後のヘアカラーの在り方を考えたとき、パウダー状の用事調整は必ず必要とされるアイテムになることは間違いないと考えたからです。

混ぜれば染まるという簡単さは無く、少し手間のかかるカラーかもしれませんが、単独でも使える・オキシ無しで使える・今のカラーへの添加剤としても使える・白髪染めおしゃれ染めとしても使える・そして一般的なクリームカラーと比べて傷まない。

手間をかけるという作業の向こうにダメージレスというメリットがあるなら、試してみる価値はあるのではないのでしょうか。

すべてのカラーを替えることは大変な事だと思いますが、エミューファンデを試して頂くことは簡単なことです。

試すことに失敗はありません。

パウダーカラー「エミューファンデ」を試して頂ければ、どのようなものなのか、我々が何を伝えたいのか、すぐに理解して頂けると思います。

「薬液でできることは薬液で」、薬液に高いポテンシャルを持たせようというこのコンセプトは、Voyage Cosmetics.が誕生してから変わっていません。

エミューファンデもこの考え方に沿って作られた、Voyage Cosmetics.の製品です。

当然、基材にも色素にも他と同じではいけないというこだわりがあります。

Voyage Cosmetics.が推薦するカラー、こだわりのすべてを見極めて下さい。

水溶きで染める

一番シンプルなエミューファンデの使い方は、水溶きです。

13レベル以上のブリーチ毛にもピンクを乗せることで、しっかりと色味が出た落ち着いたのある色合いにすることができます。



befor



after

アンダーを上げる必要のない髪にはオキシが必要ないので、簡単に水溶きカラーで対応することができます。根元が暗く既染部が明るい場合は、根元をライトナー等でトーンアップしてから水溶きカラーをワンタッチで塗布します。

オキシを使わないことで、これだけ明るい髪へのカラーもダメージ感なしに仕上げることができました。これは特別な例ではなく、普通にできることです。

このような場合でオキシは必要ありませんが、使い方による可能性は無限にあります。今お使いのカラーにエミューファンデを少し加えるだけで、色味をハッキリさせることも可能です。ライトナー等と組み合わせることで、明るい白髪染めやおしゃれ染めを行うことも可能です。根元と毛先の明度が違う髪も、比較的簡単に色合わせすることができます。

ただ、エミューファンデの良さは水溶きで充分理解して頂けるので、まずは水溶きで使ってみてください。

エミューファンデを語る

- ・ 8種類の組み合わせで84色以上のカラーバリエーションを展開することができます。
- ・ オキシを使用しないプロセスで白髪染めを行うことができます。
- ・ 安定性に優れ、比較的感作性が低いと言われている色素を使用しています。
- ・ ぬるま湯と1：7で混合して使用するため、一人あたりの原価や在庫を削減することができます。
- ・ ハリ感やツヤ感が、従来のヘアカラーに比べ格段に優れています。
- ・ 比較的短い放置時間（15～20分）で染めることができます。
- ・ 均一に混ざりやすく、塗りやすい粘度になっています。
- ・ オキシの反応による頭皮への刺激がありません。
- ・ 従来のクリーム系カラーとの併用もできます。

色々な特長を持ったカラーですが、エミューファンデが他のパウダーカラーと一番違うのは、染まりの良さです。ツヤだけを求めた色素の少ないパウダーカラーが多い中、エミューファンデは染まり・ツヤ・感触のすべてをクリアできるまで発売を延期してきました。

長期に渡ってサロンテストを繰り返した結果に基づいて最終処方を決定し、さらに現場に則した使い方を構築しています。

香草カラー、和漢彩染、ハイブリッドカラー等、パウダーカラーは数多く発売されていますが、染まり上がり、発色、使いやすさを比べて下さい。

色素が違います、発色が違います、ツヤが違います、品質が違います。

エミューファンデは、自信を持って販売していただけるパウダーカラーです。

カンゾウ抽出末

抗アレルギー、抗炎症作用等があり、肌荒れ・フケ・かゆみを抑える製品に使用します。

加水分解シルク

ダメージ部分の補修や保湿に効果があります。

タンニン酸

毛髪表面を疎水化することでケミカル処理によるダメージを軽減します。

アロエ

保湿力が高く、頭皮を健康な状態に保ちます。

ベースカラーを作る

エミューファンデは、最低限必要な8色のパウダーで構成されています。

このままで使うことも出来ますが、8色を組み合わせることで、幅広いバリエーションの色調を作ることができます。

基本色8色

ブラック・6ブラウン・7ブラウン・8ブラウン・レッド・ブルー・イエロー・クリア

調合色9色

5ブラウン・9ブラウン・10ブラウン・ベージュ・カッパー・ピンク・パープル・アッシュ・マット

調合色の割合は別に記載しますが、基本色8色と調合色9色の17色をベースカラーとして作っておくことで、少なくとも84色のカラーバリエーションを展開することができます。

単純に比較することはできませんが、クリームカラーであれば84色で各2〜3本揃えていた在庫も、基本色8色を揃えれば展開できるということで、使いこなせばかなりの在庫削減に繋がります。

調合色9色や次ページのカラーバリエーションは、一般的な色調を例として作成したもので、サロン毎に独自の色合いに変更することも簡単に行うことができます。

カラーチャートを見る

ベースカラー 17色から展開できるカラーバリエーションの一部です。

出来るだけわかりやすくするために、最小の組み合わせを提案しています。

基本色 8色からここまで広げることが出来るということをご分かっていただければと思います。

eau founda
(エミューファンデ)

**POWDER
MAKE UP
COLOR**

ベースカラー

レッド R	イエロー Y	ブルー BL
銅 Co	ベージュ BE	マット M
R: Y レッド イエロー 2: 1	8B: Y 8ブラウン イエロー 2: 1	Y: BL イエロー ブルー 3: 1
パープル P	ピンク Pi	アッシュ A
R: BL: C レッド ブルー クリア 2: 1: 1	R: BL: C レッド ブルー クリア 3: 1: 2	8B: BL: C 8ブラウン ブルー クリア 1: 1: 2
クリア C	配合することで色味を薄くすることが出来ます。 グレイカラー/メイクアップカラー どちらにも使用します。	

配合早見表

eau founda	ぬるま湯		eau founda	ぬるま湯	
	ぬるま湯	合計		ぬるま湯	合計
1g	7g	8g	11g	77g	88g
2g	14g	16g	12g	84g	96g
3g	21g	24g	13g	91g	104g
4g	28g	32g	14g	98g	112g
5g	35g	40g	15g	105g	120g
6g	42g	48g	16g	112g	128g
7g	49g	56g	17g	119g	136g
8g	56g	64g	18g	126g	144g
9g	63g	72g	19g	133g	152g
10g	70g	80g	20g	140g	160g

メイクアップカラーチャート

	レッド	銅	イエロー	ベージュ	マット	パープル	ピンク	アッシュ
10	R: C レッド クリア 1: 2	Co: C 銅 クリア 1: 2	Y: C イエロー クリア 1: 2	BE: C ベージュ クリア 1: 2	M: C マット クリア 1: 2	P: C パープル クリア 1: 2	Pi: C ピンク クリア 1: 2	A: C アッシュ クリア 1: 2
9	R: C レッド クリア 1: 1	Co: C 銅 クリア 1: 1	Y: C イエロー クリア 1: 1	BE: C ベージュ クリア 1: 1	M: C マット クリア 1: 1	P: C パープル クリア 1: 1	Pi: C ピンク クリア 1: 1	A: C アッシュ クリア 1: 1
8	R レッド	C 銅	Y イエロー	BE ベージュ	M マット	P パープル	Pi ピンク	A アッシュ

※チャートの毛筆写真はイメージです。発色は髪の状態などにより多少の違いがあります。(100%白髪毛筆に発色)


 voyagecosmetics.sakura.ne.jp

水溶きの疑問を解消する

Q 1 何故パウダーカラーなのですか？

実際、最初は何故と思いました。

しかし、使っていく中で、ヘアカラーでダメージするのは色素のせいではないということ、頭皮への負担が少ないということ、色持ちが良いということ等、色々とメリットの方が多いということに気づいたためです。

Q 2 エミューファンデを導入するメリットは何ですか？

特に既染部への染毛を行った場合、ダメージを感じない染毛を行うことができます。

これは今使っているカラーを変更することなく、同時施術やミックス施術が簡単にできます。

必要な場合や部分にだけパウダーを使うことで、従来のカラーの良い部分と共存させることができます。

Q 3 発色が良いのは何故ですか？

使っている色素と用事調整による部分が大きいと思います。

他社のパウダーカラーの成分表示と比べていただければ、色素の違いは分かっていただけます。

エミューファンデで使っている色素はすべて塩の形になっています。

塩にすることで空気中の水分や空気中の酸素による自然酸化を防止することができます。

また、学術的な資料は持ち合わせていませんが、塩の方が刺激が少ないとも言われています。

Q 4 使用するにあたり注意しなければならない事があります？

エミューファンデは、ジアミンを使った酸化染毛剤です。

ジアミンでかぶれる方には使用しないでください。

パウダー状なので、粉が舞うような使い方をされると洋服等に付着して後で発色する状況になります。

出来るだけ注意して、丁寧に調合していただくことをお願いします。

Q 5 他のパウダーカラーとの違いを教えてください。

品質の良い色素を確実に染めるために必要なだけ配合しているということです。

均一に溶けて均一に塗布できる、この安定感は比べていただければすぐに理解していただけます。

Q 6 今使っているカラーを総入れ換えしなければならないのですか？

使っている間に使用頻度が上がってくると思いますが、無理に入れ替えを進める必要はありません。

今お使いのカラーの色味を強化したり、水溶きでトーンダウンしたり、まずは簡単などころから導入していただくことができます。

Q7 お客様にメリットはありますか？

オキシを使わないことで、頭皮への刺激がかなり軽減されます。
アンモニアやモノエタノールアミンなどを使っていないので、嫌な臭いがありません。
ダメージが少ないことにお客様が気づくということは、サロンテストで実証されています。
それに加えて、色持ちがいいことです。

Q8 どんな髪でも染まりますか？

酸化染毛剤なので、工夫すればどんな髪でも染めることはできますが、エミューファンデで考えていき

たいのは適剤適所の染色です。
染まりにくいダメージしにくい新生部には従来のクリームカラーを持っていてもいいと思います。
むしろその方がお客様にも負担がかからないかもしれません。
既染部に関しては、何らかのダメージを受けている可能性があるので、エミューファンデで色だけを入れていった方が髪に負担がかからないと思います。
カラーチェンジを考えないのであれば、酸性カラーで行うこともできます。

Q9 パウダーカラーを使った時にきしむという声があるのですが、どのように対応したらいいですか？

パウダーの中には、オイルなどの油分が入っておらず、ダメージ毛はきしむと思います。
ですが、決して傷んできしんでいるわけではなく、髪の強度は普通のカラー剤に比べて落ちません。
対処法としては、カラー前にウエットにしてラメラを髪の毛に揉み込むといいでしょう。
カラー剤にも5%ほどミネラルハニーを混ぜるのもいいと思います。
毛先にオイルを付けていくのもオススメです。

今を生かす

エミューファンデの導入にあたって、今お使いのヘアカラーを替える必要はありません。

酸化染料を主原料にしたカラーであれば、どのメーカーであってもエミューファンデを組み合わせることができます。

- ・根元には従来のクリームカラー、既染部にはエミューファンデを持っていくことで、ダメージを抑えたカラーリングを行うことができます。
- ・色味を強くしたいとき、強くしたい系統のカラーを5%程度添加してください。
- ・染まりを良くしたいとき、同系統のカラーを5%程度添加してください。
- ・ハリとツヤが欲しいとき、または感触を上げたいとき、同系統のカラーを5%程度添加してください。

※エミューファンデを加えたことでカラーの粘度が上がった場合、添加量と同量のオキシを加えてください。

色味によっては、0.5トーン程度暗めに仕上がる場合があります。

既存カラーとの併行施術

根元の白髪は健康毛であることがほとんどなので、通常のクリームカラーを使ってもそれほどダメージを心配する必要はありません。

既染部については、繰り返しカラーを行っていることが考えられるので、ダメージが蓄積している可能性が大きいと考えられます。

「根元はクリームカラーで既染部はエミューファンデで」、という併行施術を行うことでダメージを抑える方法は、濃染タイプのエミューファンデが力を発揮するところです。

パーマと同様にアルカリが必要な部分に必要なだけのアルカリを持っていく、ダメージが異なれば持っていく薬液を替えるのはパーマ施術では当たり前のことです。

カラーも色を選ぶだけでなく、そのカラーがどのような構成になっているのかを知ることが大切になってきていると思います。

ダメージレベルを考えた発色が、エミューファンデの持ち味です。

明るく染める

水溶きで使用することが基本ですが、使いこんでいくなかで明るさを求められることは自然の流れだと思います。カラー+ライトナー+オキシを組み合わせることで明るい白髪染めやファッションカラーも可能になりました。出来るだけダメージを抑えてアンダーを上げたいということで、レベル別のライトナーを製品化しました。

エミューファンデライトナー

レベル8・9・10・11・13

オキシ・ライトナー=5：1にミックスすることで、表記のレベルにトーンアップすることができます。通常のライトナーはオキシと2：1でミックスするので、5：1にミックスするとオキシの割合が増えるところでダメージしそうですが、実際に施術後の毛髪強度を計測すると、5：1のほうが毛髪強度が保たれます。髪のダメージは、オキシ濃度よりもアルカリによるオキシ活性化のほうが影響が大きいことが分かります。

ダメージを抑えたライトナーとエミューファンデの組み合わせはサロンの現場で必ずお役にたてる場面があると思います。

色を抜くだけのアイテム・色を入れるだけのアイテム、それぞれ限定される役割を持った優れたアイテムを組み合わせることで無限の可能性が広がるのではないかと考えています。

オキシは6%を用意しています。

5：1でライトナーとミックスした時に塗布しやすい粘度に調整しています。

粘度が低いと塗りにくくなり、粘度が高いと塗布量が増えてコストアップに繋がります。

ダメージはオキシ量ではなく、アルカリ度

LT1：5=90.12 LT1：2=83.21

オキシの割合が多くても毛髪強度は下がりませんでした。

ライトナーの量が少ない方が、pH値やアルカリ度が低いことが要因だと考えられます。

酸化染毛剤もパーマやストレート剤と同じで、結果が出せる範囲であれば出来るだけアルカリ度が低い方がいいということです。

ライトナーテクニック

チャートを参考にしてください。

ライトナーの疑問を解消する

Q 1 ライトナーはどんな時に必要ですか？

ライトナーはファッションカラーや明るい白髪染めの施術時に使用します。トーンアップする施術は、アルカリによるダメージが気になるころだと思います。

「エミューファンデ」のパウダーとライトナーの組み合わせは、明るくしながら発色と毛髪強度維持のバランスを考えた新しいカラーの方法です。

Q 2 ライトナーのとパウダーを混ぜる場合の注意点を教えてください。

しっかりと混ぜ合わせる事と配合する量に注意して下さい。

ライトナーとオキシに対してパウダーの量が、多ければ多いほど濃く染まり色味も出るようになりますが、粘性が強くなりすぎ操作性が悪くなったり、コストが高くなりますので10%を目安に配合してください。

Q 3 放置タイムはどのくらいですか？

基本的な放置タイムは20分から30分になります。20分で一度、カラーチェックしてください。

髪の強さなどに合わせて時間は調整してください。

Q 4 オキシとパウダーのみを混ぜてもかまいませんか？

お勧めできません。パウダーがもともと水溶きでも発色するように処方されています。

オキシと混ぜると発色が強くなりすぎて色の計算ができなくなります。

Q 5 塗布する時の注意点を教えてください。

通常のおしゃれ染めと同じように塗布してください。

根元にためすぎると体温で根元が明るくなりすぎる事もあるので注意してください。

Q 6 使用時のコストを教えてください。

80g使用時、ライトナー、オキシの1：5に対し10%パウダーを配合した場合、324円になります。

一般的なクリームカラーの80g使用時が388.8円なので2割程度コストダウンが可能です。

※一般的なクリームカラー＝23社のサロンカラーの平均価格から算出。

Q 7 エミューファンデライトナーに、他社のオキシの使用は可能ですか？

発色させるということだけであれば可能ですが、きれいに染めるという点ではオススメできません。

ライトナーとオキシは、アルカリ剤などの有効成分が微妙なバランスで処方が組まれています。

正しいバランスがくずれてしまうと、本来の効果が得られないことがあります。

Q 8 エミューフアンデライトナーは、なぜオキシと 1 : 5 で混ぜ合わせるのですか？

一般的にライトナーは、1 : 2 で使用するものが多いと思います。

エミューフアンデライトナーは、1 : 5 で使用するための処方を組んでいます。

1 : 5 で使用することでアルカリ量を少なくでき、なおかつリフト力を高めることができます。

その結果、強度を下げずにトーンアップする事ができます。

Q 9 8 レベル、9 レベル、10 レベルのライトナーをラインナップしたのはなぜですか？

6 ~ 12 レベルのカラーを作りやすくするために用意しています。

ライトナーとしては低いレベルからあるので、組み合わせ次第でグレイカラーからファッションカラーまで明るいヘアカラーに対応することができます。

Q 10 パウダーを使用しないで、ライトナーとオキシだけの使用は可能ですか？

通常のライトナーやクリームブリーチと同様に、色味は必要ないが明るくしたい場合などにご使用いただけます。

テストデータ

染毛後の毛髪強度テスト

ブランク (ダメージレベル 3~4) 91.02

クリーム (ナチュラル系 6 レベル) 75.8

エミューファンデ (6 ブラウン) 114.96

エミューファンデ (6 ブラウン) とクリームカラー (ナチュラル系 6 ブラウン) をそれぞれ 5 回施術した染毛後の毛髪強度データです。

クリームカラーは、約 17% 強度が低下しているのに比べ、エミューファンデは、約 25% 強度が上がっています。この結果から、エミューファンデを使った染毛は強度低下が起こらないことが分かります。

ライトナーとオキシの混合割合による強度変化

ブランク (ダメージレベル 3~4) 91.02

ライトナー : オキシ = 1 : 5 90.12

ライトナー : オキシ = 1 : 2 83.21

ライトナーとオキシの配合割合を変えることで、毛髪強度に変化があることが分かります。エミューファンデが 1 : 5 をお勧めする理由です。